

散髪奉仕続け40年

旭川荘竜ノ口寮 利用者から感謝

県立岡山聾学校（岡山市中区土田）高等部理容科の生徒が、旭川荘（同市北区祇園）の身体障害者支援施設・竜ノ口寮で40年以上、散髪のパランティ

旭川荘の各施設の入所者は外出が難しく、2人。それでも毎月、

いずれかの水曜日に竜ノ口寮で奉仕している。10月22日も、専攻科の西竜生さん（19）と本科1年の永野花奈さん（16）の2人が、担当教諭3人とともに竜ノ口寮を訪れた。"お客"となった入所者は12人。好みの髪の長さな

います。入所して10年ほどになりますが、これまで何度も利用しました"と入所者の下村住子さん（74）。

永野さんは「もっとうまくなり、立派な理容師を目指したい」、引率した岸本宣治教諭（46）は「生徒は人のために役立っている」と実感しているようだ。地域貢献として今後も続けたい」と話している。

（大橋孝平）

どをジェスチャーで一人一人確認し、バリカンやはさみで丁寧に整えた。頬やうなじをそるときはカミソリを肌に当てる角度などを教諭から教わる場面もあった。

「生徒さんの懸命な姿勢に元気をもらって



パランティアで散髪をする岡山聾学校高等部理容科の生徒